

人間総合科学研究科 疾患制御医学専攻（医学の課程）

専攻共通科目（疾患制御）

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02EX001	イニシエーションセミナー	1	1.0	1・2	春ABC	応談		千葉 滋	医学系博士課程専攻修了者に対する社会のニーズを正しく理解し、大学院生の個性をキャリアに繋ぐための3種類のコースワーク(インテンシブ・リサーチコース、クリニカル・リサーチコースおよびパブリック・リサーチコース)のそれぞれの学修内容と目的ならびにキャリアパスとの関係を理解する。	必修(24年度以前入学者のみ) *25年度以降入学者は履修できません。
02EX002	医学研究概論	1	1.0	1・2	春AB	木・金 7,8	4A203	西山 博之	医学研究を始めるために必要な試薬の管理や実験廃液処理の方法、遺伝子組換え実権や動物実験の完全操作と研究マナーについて学習し、新しい医学研究の動向や研究方法論などの基礎を学ぶ。	必修
02EX003	医学セミナー	2	3.0	1・2	通年	応談		千葉 滋	専攻の担当教員または非常勤講師による医学系研究セミナーを受講し、講師との質疑応答に参加する。そして、関連分野の原著論文を読み、その研究分野の背景、研究方法、および研究成果の特徴について理解する。加えて、今後の課題、医学研究における当該研究の意義について考察する。	必修
02EX004	医学特殊研究	2	2.0	1・2	通年	応談		疾患制御医学専攻 全教員	研究指導教員の個別指導によって、学位論文のテーマの設定に必要な基礎的知識の取得方法とその内容について学ぶ。また討論を通じて各自の研究テーマを設定し、その研究実施に必要な研究方法を選択し、必要な申請手続きを行い、博士論文作成の見直しを立てる。	必修
02EX005	医学特別演習	2	5.0	1・2	通年	応談		疾患制御医学専攻 全教員	各指導教員から研究指導を受け、研究結果に対する解析の仕方を選び、その意義について理解するとともに、研究成果に基づいた次の研究計画を立案し、それを実行することを繰り返す。	必修
02EX007	国際実践医学研究特論	1	3.0	1 - 4	通年	応談		千葉 滋	国際会議や国際共同研究に参加し、情報の交換と理解、および研究実践による先端技術と論理的思考方法を涵養する(国際派遣)。海外から招聘した研究者や大学院生と議論することにより、国際的に運用する研究を体感すると共に発表方法・語学力を身につける。それらの知的基盤を土台として、世界的な研究視野に基づく独創的研究を生み出すことの必要性について理解する(招聘国際セミナー)。大学院教育の本質を理解するために、途上国との海外教育研究協力を積極的に参加して、大学院教育カリキュラム作成に携わり、大学院教育の理念について知識を深める(海外医学教育)。	英語で授業。
02EX008	臨床研究方法論	2	3.0	1・2	通年	応談		疾患制御医学専攻 全教員	最新の臨床研究の水準を理解するために、英文原著論文・総説を読み、その内容を説明できるようにする。臨床現場で得た研究のシーズにその論文検討で得た成果を当てはめ、自らの研究テーマにどう役立てるかを明らかにできるようにする。	
02EX009	最先端医学研究セミナー	1	3.0	1・2	通年	応談		武川 寛樹	ポストゲノム時代の医学生物学研究を支える新たな技術や概念について講義を受け、内容について討論を行なう。主な内容は、以下のとおりである。(1)哺乳動物遺伝学:遺伝子改変マウスをはじめとした哺乳動物モデルを用いた最先端の医学生物学研究について、技術基盤と有用性を学ぶ。(2)医学物理・化学:最先端の研究機器や物理化学的技術について、またこれらを駆使した最先端の研究について聴講し、医学生物学研究に必要な物理学、物理化学、化学的知識について理解する。	
02EX010	橋渡し研究マネジメント	1	2.0	1・2	秋ABC	月6,7		橋本 幸一、大根田修、西山 博之	医薬品や治療器具、医用材料の開発や治療・診断装置の開発においては倫理的に問題の無い方法による安全性・有効性の科学的実証研究(前臨床研究、臨床研究(治験))は欠かせないが、最近では予防医学的観点に立った機能性食品等の開発においても医薬品開発と同様の安全性・有効性の科学的実証研究(臨床研究(治験))が欠かせないものとなってきている。こうした状況にあって倫理的・科学的観点のみならず技術経営的観点(技術動向の理解、事業化の方向性企画・立案・検証、リスクマネジメント、知識マネジメント等)に立脚し戦略的に医療・医薬・健康に関わる研究開発のマネジメントを担える人材(主任研究医師、医療・医薬・健康研究開発マネージャー)を目指し、専門知識と関連する知識を習得する。	英語で授業。
02EX011	医科学教育実習	3	1.0	2・3	通年	応談		千葉 滋	専攻の人材養成の目的を理解し、担当する科目の目標、学習内容、評価基準を作成し、授業と試験問題の作成・採点を実施する。また、学生と指導教員からの授業評価を受け、次年度のシラバスを改善する。	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02EX012	外国人医学者とのコミュニケーション演習	2	3.0	1-4	通年	応談		我妻 ゆき子	This discussion seminar is open to all students in the medical program including international students. We will read current issue articles in publications such as Nature, and students will be encouraged to think about and express opinions about these issues. The focus will be the medical field and how it connects will broader social, economic, and political matters.	英語で授業。

専門科目(疾患制御)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02EX101	疾患制御医学概論	1	1.0	1-2	通年	応談		千葉 滋	専攻内のそれぞれの研究分野についての理解を深め、実際に行なわれている研究内容や方法論を知り視野を広げ、異なる分野の研究者と討論する機会を与え研究交流を促進する。	必修(H24年度入学者のみ) *25年度以降入学者は履修できません。
02EX259	疾患制御医学特殊研究	2	2.0	1-2	通年	応談		千葉 滋	専攻内各研究グループにおいて、実際におこなわれている研究に関して、背景、目的、方法、結果、結論、考察に関して議論し、今後の方向性を検討して、論文発表の準備をする。	必修
02EX260	臨床病態解明学特論I	1	2.0	1-2	春ABC	応談		前野 哲博, 南 学, 櫻井 英幸, 朝田 隆, 田中 誠, 水谷 太郎, 本間 真人, 高橋 祥友, 我妻 ゆき子, 橋本 幸一, 柳 健一, 宮田 桂司, 三好 荘介, 成松 久, 澤田 光平, 谷口 彰良, 北條 泰輔	<p>前野 哲博 地域医療と医学教育に関する研究を行う</p> <p>南 学 放射線医学の臨床応用の最新の知見</p> <p>櫻井 英幸 粒子線を含む放射線を利用した癌治療を学ぶ</p> <p>朝田 隆 脳科学の進歩を踏まえた臨床精神医学の追究</p> <p>田中 誠 麻酔・蘇生に関わる研究を遂行する能力を獲得する</p> <p>水谷 太郎 初期診療から多臓器不全までテーマは広範</p> <p>本間 真人 薬物の効果・副作用と関連する薬物動態について、解析方法と変動因子(代謝酵素・輸送蛋白)に関する基礎知識を学び研究を行う。</p> <p>高橋 祥友 大規模災害時の被災者及び救援者の精神的健康の維持に関する講義</p> <p>我妻 ゆき子 臨床試験と臨床疫学に関する理論とその応用</p> <p>橋本 幸一 橋渡し研究、多施設共同臨床研究の実施およびマネジメントによる地域医療、地域産業の活性化</p> <p>宮田 桂司(連) 創薬現場における魅力的なバイオイ</p> <p>三好 荘介(連) メーキング</p> <p>成松 久(連) 生体を構成する個々の分子の構造と</p> <p>機能が発現して機能する調節系が</p> <p>生</p> <p>命活動を規定していることを理解し、有用な生体分子を創出する事</p> <p>も</p> <p>目指す</p> <p>澤田 光平(連) 遺伝子、タンパク質に基づく創薬科</p> <p>学研究</p> <p>谷口 彰良(連) 細胞と生体材料の相互作用を遺伝子</p> <p>の表現レベルで検討し、細胞-材料間のインターフェースをナノメー</p> <p>タ</p> <p>レベルで観察・研究する</p> <p>北條 泰輔(連) 医薬品・医療機器の審査プロセスを</p> <p>学ぶことにより、レギュラトリー</p> <p>サイ</p> <p>イエンスの基本を身につけ、医学</p> <p>系</p> <p>各分野の学識や最先端技術の応用</p> <p>に</p> <p>資する。</p>	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02EX261	臨床病態解明学特論II	1	2.0	1・2	秋ABC	応談		前野 哲博, 南 学, 櫻井 英幸, 朝田 隆, 田中 誠, 水谷 太郎, 本間 真人, 高橋 祥友, 我妻 ゆき子, 橋本 幸一, 柳 健一, 宮田 桂司, 三好 荘介, 成松 久, 澤田 光平, 谷口 彰良, 北條 泰輔	<p>前野 哲博 地域医療と医学教育に関する研究を行う</p> <p>南 学 放射線医学の臨床応用の最新の知見</p> <p>櫻井 英幸 粒子線を含む放射線を利用した癌治療を学ぶ</p> <p>朝田 隆 脳科学の進歩を踏まえた臨床精神医学の追究</p> <p>田中 誠 麻酔・蘇生に関わる研究を遂行する能力を獲得する</p> <p>水谷 太郎 初期診療から多臓器不全までテーマは広範</p> <p>本間 真人 薬物の効果・副作用と関連する薬物動態について、解析方法と変動因子(代謝酵素・輸送蛋白)に関する基礎知識を学び研究を行う。</p> <p>高橋 祥友 大規模災害時の被災者及び救援者の精神的健康の維持に関する講義</p> <p>我妻 ゆき子 臨床試験と臨床疫学に関する理論とその応用</p> <p>橋本 幸一 橋渡し研究、多施設共同臨床研究の実施およびマネジメントによる地域医療、地域産業の活性化</p> <p>宮田 桂司(連) 創薬現場における魅力的なバイオイ</p> <p>三好 荘介(連) メーjing</p> <p>成松 久(連) 生体を構成する個々の分子の構造と</p> <p>機能が発現して機能する調節系が生</p> <p>命活動を規定していることを理解し、有用な生体分子を創出する事も</p> <p>目指す</p> <p>澤田 光平(連) 遺伝子、タンパク質に基づく創薬科</p> <p>学研究</p> <p>谷口 彰良(連) 細胞と生体材料の相互作用を遺伝子の表現レベルで検討し、細胞-材料間のインターフェースをナノメータ</p> <p>レベルで観察・研究する</p> <p>北條 泰輔(連) 医薬品・医療機器の審査プロセスを</p> <p>学ぶことにより、レギュラトリー</p> <p>イエンスの基本を身につけ、医学</p> <p>各分野の学識や最先端技術の応用に</p> <p>資する。</p>	
02EX262	臨床病態解明学演習I	2	2.0	1・2	春ABC	応談		前野 哲博, 南 学, 櫻井 英幸, 朝田 隆, 田中 誠, 水谷 太郎, 本間 真人, 高橋 祥友, 我妻 ゆき子, 橋本 幸一, 柳 健一, 宮田 桂司, 三好 荘介, 成松 久, 澤田 光平, 谷口 彰良, 北條 泰輔	<p>前野 哲博 地域医療と医学教育に関する研究を行う</p> <p>南 学 放射線医学の臨床応用の最新の知見</p> <p>櫻井 英幸 粒子線を含む放射線を利用した癌治療を学ぶ</p> <p>朝田 隆 脳科学の進歩を踏まえた臨床精神医学の追究</p> <p>田中 誠 麻酔・蘇生に関わる研究を遂行する能力を獲得する</p> <p>水谷 太郎 初期診療から多臓器不全までテーマは広範</p> <p>本間 真人 薬物の効果・副作用と関連する薬物動態について、解析方法と変動因子(代謝酵素・輸送蛋白)に関する基礎知識を学び研究を行う。</p> <p>高橋 祥友 大規模災害時の被災者及び救援者の精神的健康の維持に関する講義</p> <p>我妻 ゆき子 臨床試験と臨床疫学に関する理論とその応用</p> <p>橋本 幸一 橋渡し研究、多施設共同臨床研究の実施およびマネジメントによる地域医療、地域産業の活性化</p> <p>宮田 桂司(連) 創薬現場における魅力的なバイオイ</p> <p>三好 荘介(連) メーjing</p> <p>成松 久(連) 生体を構成する個々の分子の構造と</p> <p>機能が発現して機能する調節系が生</p> <p>命活動を規定していることを理解し、有用な生体分子を創出する事も</p> <p>目指す</p> <p>澤田 光平(連) 遺伝子、タンパク質に基づく創薬科</p> <p>学研究</p> <p>谷口 彰良(連) 細胞と生体材料の相互作用を遺伝子の表現レベルで検討し、細胞-材料間のインターフェースをナノメータ</p> <p>レベルで観察・研究する</p> <p>北條 泰輔(連) 医薬品・医療機器の審査プロセスを</p> <p>学ぶことにより、レギュラトリー</p> <p>イエンスの基本を身につけ、医学</p> <p>各分野の学識や最先端技術の応用に</p> <p>資する。</p>	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02EX263	臨床病態解明学演習II	2	2.0	1・2	秋ABC	応談		前野 哲博, 南 学, 櫻井 英幸, 朝田 隆, 田中 誠, 水谷 太郎, 本間 真人, 高橋 祥友, 我妻 ゆき子, 橋本 幸一, 柳 健一, 宮田 桂司, 三好 荘介, 成松 久, 澤田 光平, 谷口 彰良, 北條 泰輔	<p>前野 哲博 地域医療と医学教育に関する研究を行う</p> <p>南 学 放射線医学の臨床応用の最新の知見</p> <p>櫻井 英幸 粒子線を含む放射線を利用した癌治療を学ぶ</p> <p>朝田 隆 脳科学の進歩を踏まえた臨床精神医学の追究</p> <p>田中 誠 麻酔・蘇生に関わる研究を遂行する能力を獲得する</p> <p>水谷 太郎 初期診療から多臓器不全までテーマは広範</p> <p>本間 真人 薬物の効果・副作用と関連する薬物動態について、解析方法と変動因子(代謝酵素・輸送蛋白)に関する基礎知識を学び研究を行う。</p> <p>高橋 祥友 大規模災害時の被災者及び救援者の精神的健康の維持に関する講義</p> <p>我妻 ゆき子 臨床試験と臨床疫学に関する理論とその応用</p> <p>橋本 幸一 橋渡し研究、多施設共同臨床研究の実施およびマネジメントによる地域医療、地域産業の活性化</p> <p>宮田 桂司(連) 創薬現場における魅力的バイオイ</p> <p>三好 荘介(連) メーjing</p> <p>成松 久(連) 生体を構成する個々の分子の構造と</p> <p>機能が発現して機能する調節系が生</p> <p>命活動を規定していることを理解し、有用な生体分子を創出する事も</p> <p>目指す</p> <p>澤田 光平(連) 遺伝子、タンパク質に基づく創薬科</p> <p>学研究</p> <p>谷口 彰良(連) 細胞と生体材料の相互作用を遺伝子の表現レベルで検討し、細胞-材料間のインターフェースをナノメータ</p> <p>レベルで観察・研究する</p> <p>北條 泰輔(連) 医薬品・医療機器の審査プロセスを</p> <p>学ぶことにより、レギュラトリー</p> <p>イエンスの基本を身につけ、医学</p> <p>系</p> <p>各分野の学識や最先端技術の応用に</p> <p>資する。</p>	
02EX264	臨床病態解明学実験演習I	3	2.0	1・2	春ABC	応談		前野 哲博, 南 学, 櫻井 英幸, 朝田 隆, 田中 誠, 水谷 太郎, 本間 真人, 高橋 祥友, 我妻 ゆき子, 橋本 幸一, 柳 健一, 宮田 桂司, 三好 荘介, 成松 久, 澤田 光平, 谷口 彰良, 北條 泰輔	<p>前野 哲博 地域医療と医学教育に関する研究を行う</p> <p>南 学 放射線医学の臨床応用の最新の知見</p> <p>櫻井 英幸 粒子線を含む放射線を利用した癌治療を学ぶ</p> <p>朝田 隆 脳科学の進歩を踏まえた臨床精神医学の追究</p> <p>田中 誠 麻酔・蘇生に関わる研究を遂行する能力を獲得する</p> <p>水谷 太郎 初期診療から多臓器不全までテーマは広範</p> <p>本間 真人 薬物の効果・副作用と関連する薬物動態について、解析方法と変動因子(代謝酵素・輸送蛋白)に関する基礎知識を学び研究を行う。</p> <p>高橋 祥友 大規模災害時の被災者及び救援者の精神的健康の維持に関する講義</p> <p>我妻 ゆき子 臨床試験と臨床疫学に関する理論とその応用</p> <p>橋本 幸一 橋渡し研究、多施設共同臨床研究の実施およびマネジメントによる地域医療、地域産業の活性化</p> <p>宮田 桂司(連) 創薬現場における魅力的バイオイ</p> <p>三好 荘介(連) メーjing</p> <p>成松 久(連) 生体を構成する個々の分子の構造と</p> <p>機能が発現して機能する調節系が生</p> <p>命活動を規定していることを理解し、有用な生体分子を創出する事も</p> <p>目指す</p> <p>澤田 光平(連) 遺伝子、タンパク質に基づく創薬科</p> <p>学研究</p> <p>谷口 彰良(連) 細胞と生体材料の相互作用を遺伝子の表現レベルで検討し、細胞-材料間のインターフェースをナノメータ</p> <p>レベルで観察・研究する</p> <p>北條 泰輔(連) 医薬品・医療機器の審査プロセスを</p> <p>学ぶことにより、レギュラトリー</p> <p>イエンスの基本を身につけ、医学</p> <p>系</p> <p>各分野の学識や最先端技術の応用に</p> <p>資する。</p>	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02EX265	臨床病態解明学実験実習II		3	2.0	1・2	秋ABC		前野 哲博, 南 学, 櫻井 英幸, 朝田 隆, 田中 誠, 水谷 太郎, 本間 真人, 高橋 祥友, 我妻 ゆき子, 橋本 幸一, 柳 健一, 宮田 桂司, 三好 荘介, 成松 久, 澤田 光平, 谷口 彰良, 北條 泰輔	<p>前野 哲博 地域医療と医学教育に関する研究を行う</p> <p>南 学 放射線医学の臨床応用の最新の知見</p> <p>櫻井 英幸 粒子線を含む放射線を利用した癌治療を学ぶ</p> <p>朝田 隆 脳科学の進歩を踏まえた臨床精神医学の追究</p> <p>田中 誠 麻酔・蘇生に関わる研究を遂行する能力を獲得する</p> <p>水谷 太郎 初期診療から多臓器不全までテーマは広範</p> <p>本間 真人 薬物の効果・副作用と関連する薬物動態について、解析方法と変動因子(代謝酵素・輸送蛋白)に関する基礎知識を学び研究を行う。</p> <p>高橋 祥友 大規模災害時の被災者及び救援者の精神的健康の維持に関する講義</p> <p>我妻 ゆき子 臨床試験と臨床疫学に関する理論とその応用</p> <p>橋本 幸一 橋渡し研究、多施設共同臨床研究の実施およびマネジメントによる地域医療、地域産業の活性化</p> <p>宮田 桂司(連) 創薬現場における魅力的なバイオイ</p> <p>三好 荘介(連) メージング</p> <p>成松 久(連) 生体を構成する個々の分子の構造と機能</p> <p>生 機能が総合して機能する調節系が</p> <p>命活動を規定していることを理解し、有用な生体分子を創出する事も</p> <p>目指す</p> <p>澤田 光平(連) 遺伝子、タンパク質に基づく創薬科</p> <p>学 研究</p> <p>谷口 彰良(連) 細胞と生体材料の相互作用を遺伝子の表現レベルで検討し、細胞-材料間のインターフェースをナノメートル</p> <p>レベルで観察・研究する</p> <p>北條 泰輔(連) 医薬品・医療機器の審査プロセスを学ぶことにより、レギュラトリー</p> <p>系 イエンスの基本を身につけ、医学</p> <p>系 各分野の学識や最先端技術の応用に資する。</p>	
02EX266	臨床病態解明学特論I		1	2.0	1・2	春ABC		前野 哲博, 南 学, 櫻井 英幸, 朝田 隆, 田中 誠, 水谷 太郎, 本間 真人, 高橋 祥友, 我妻 ゆき子, 橋本 幸一, 柳 健一, 宮田 桂司, 三好 荘介, 成松 久, 澤田 光平, 谷口 彰良, 北條 泰輔	<p>前野 哲博 地域医療と医学教育に関する研究を行う</p> <p>南 学 放射線医学の臨床応用の最新の知見</p> <p>櫻井 英幸 粒子線を含む放射線を利用した癌治療を学ぶ</p> <p>朝田 隆 脳科学の進歩を踏まえた臨床精神医学の追究</p> <p>田中 誠 麻酔・蘇生に関わる研究を遂行する能力を獲得する</p> <p>水谷 太郎 初期診療から多臓器不全までテーマは広範</p> <p>本間 真人 薬物の効果・副作用と関連する薬物動態について、解析方法と変動因子(代謝酵素・輸送蛋白)に関する基礎知識を学び研究を行う。</p> <p>高橋 祥友 大規模災害時の被災者及び救援者の精神的健康の維持に関する講義</p> <p>我妻 ゆき子 臨床試験と臨床疫学に関する理論とその応用</p> <p>橋本 幸一 橋渡し研究、多施設共同臨床研究の実施およびマネジメントによる地域医療、地域産業の活性化</p> <p>宮田 桂司(連) 創薬現場における魅力的なバイオイ</p> <p>三好 荘介(連) メージング</p> <p>成松 久(連) 生体を構成する個々の分子の構造と機能</p> <p>生 機能が総合して機能する調節系が</p> <p>命活動を規定していることを理解し、有用な生体分子を創出する事も</p> <p>目指す</p> <p>澤田 光平(連) 遺伝子、タンパク質に基づく創薬科</p> <p>学 研究</p> <p>谷口 彰良(連) 細胞と生体材料の相互作用を遺伝子の表現レベルで検討し、細胞-材料間のインターフェースをナノメートル</p> <p>レベルで観察・研究する</p> <p>北條 泰輔(連) 医薬品・医療機器の審査プロセスを学ぶことにより、レギュラトリー</p> <p>系 イエンスの基本を身につけ、医学</p> <p>系 各分野の学識や最先端技術の応用に資する。</p>	昼夜制学生に限る

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02EX267	臨床病態解明学特論II		1	2.0	1・2	秋ABC		前野 哲博, 南 学, 櫻井 英幸, 朝田 隆, 田中 誠, 水谷 太郎, 本間 真人, 高橋 祥友, 我妻 ゆき子, 橋本 幸一, 柳 健一, 宮田 桂司, 三好 荘介, 成松 久, 澤田 光平, 谷口 彰良, 北條 泰輔	<p>前野 哲博 地域医療と医学教育に関する研究を行う</p> <p>南 学 放射線医学の臨床応用の最新の知見</p> <p>櫻井 英幸 粒子線を含む放射線を利用した癌治療を学ぶ</p> <p>朝田 隆 脳科学の進歩を踏まえた臨床精神医学の追究</p> <p>田中 誠 麻酔・蘇生に関わる研究を遂行する能力を獲得する</p> <p>水谷 太郎 初期診療から多臓器不全までテーマは広範</p> <p>本間 真人 薬物の効果・副作用と関連する薬物動態について、解析方法と変動因子(代謝酵素・輸送蛋白)に関する基礎知識を学び研究を行う。</p> <p>高橋 祥友 大規模災害時の被災者及び救護者の精神的健康の維持に関する講義</p> <p>我妻 ゆき子 臨床試験と臨床疫学に関する理論とその応用</p> <p>橋本 幸一 橋渡し研究、多施設共同臨床研究の実施およびマネジメントによる地域医療、地域産業の活性化</p> <p>宮田 桂司(連) 創薬現場における魅力的バイオイ</p> <p>三好 荘介(連) メーキング</p> <p>成松 久(連) 生体を構成する個々の分子の構造と機能</p> <p>生 機能が総合して機能する調節系が</p> <p>も 命活動を規定していることを理解し、有用な生体分子を創出する事</p> <p>目指す</p> <p>澤田 光平(連) 遺伝子、タンパク質に基づく創薬科</p> <p>学 学研究</p> <p>谷口 彰良(連) 細胞と生体材料の相互作用を遺伝子の表現レベルで検討し、細胞-材料間のインターフェースをナノメータ</p> <p>レベルで観察・研究する</p> <p>北條 泰輔(連) 医薬品・医療機器の審査プロセスを学ぶことにより、レギュラトリー</p> <p>系 イエンスの基本を身につけ、医学</p> <p>に 各分野の学識や最先端技術の応用資する。</p>	昼夜制学生に限る
02EX268	臨床病態解明学実験実習I		3	2.0	1・2	春ABC		前野 哲博, 南 学, 櫻井 英幸, 朝田 隆, 田中 誠, 水谷 太郎, 本間 真人, 高橋 祥友, 我妻 ゆき子, 橋本 幸一, 柳 健一, 宮田 桂司, 三好 荘介, 成松 久, 澤田 光平, 谷口 彰良, 北條 泰輔	<p>前野 哲博 地域医療と医学教育に関する研究を行う</p> <p>南 学 放射線医学の臨床応用の最新の知見</p> <p>櫻井 英幸 粒子線を含む放射線を利用した癌治療を学ぶ</p> <p>朝田 隆 脳科学の進歩を踏まえた臨床精神医学の追究</p> <p>田中 誠 麻酔・蘇生に関わる研究を遂行する能力を獲得する</p> <p>水谷 太郎 初期診療から多臓器不全までテーマは広範</p> <p>本間 真人 薬物の効果・副作用と関連する薬物動態について、解析方法と変動因子(代謝酵素・輸送蛋白)に関する基礎知識を学び研究を行う。</p> <p>高橋 祥友 大規模災害時の被災者及び救護者の精神的健康の維持に関する講義</p> <p>我妻 ゆき子 臨床試験と臨床疫学に関する理論とその応用</p> <p>橋本 幸一 橋渡し研究、多施設共同臨床研究の実施およびマネジメントによる地域医療、地域産業の活性化</p> <p>宮田 桂司(連) 創薬現場における魅力的バイオイ</p> <p>三好 荘介(連) メーキング</p> <p>成松 久(連) 生体を構成する個々の分子の構造と機能</p> <p>生 機能が総合して機能する調節系が</p> <p>も 命活動を規定していることを理解し、有用な生体分子を創出する事</p> <p>目指す</p> <p>澤田 光平(連) 遺伝子、タンパク質に基づく創薬科</p> <p>学 学研究</p> <p>谷口 彰良(連) 細胞と生体材料の相互作用を遺伝子の表現レベルで検討し、細胞-材料間のインターフェースをナノメータ</p> <p>レベルで観察・研究する</p> <p>北條 泰輔(連) 医薬品・医療機器の審査プロセスを学ぶことにより、レギュラトリー</p> <p>系 イエンスの基本を身につけ、医学</p> <p>に 各分野の学識や最先端技術の応用資する。</p>	昼夜制学生に限る

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02EX269	臨床病態解明学実験実習II	3	2.0	1・2	秋ABC	応談		前野 哲博, 南 学, 櫻井 英幸, 朝田 隆, 田中 誠, 水谷 太郎, 本間 真人, 高橋 祥友, 我妻 ゆき子, 橋本 幸一, 柳 健一, 宮田 桂司, 三好 荘介, 成松 久, 澤田 光平, 谷口 彰良, 北條 泰輔	<p>前野 哲博 地域医療と医学教育に関する研究を行う</p> <p>南 学 放射線医学の臨床応用の最新の知見</p> <p>櫻井 英幸 粒子線を含む放射線を利用した癌治療を学ぶ</p> <p>朝田 隆 脳科学の進歩を踏まえた臨床精神医学の追究</p> <p>田中 誠 麻酔・蘇生に関わる研究を遂行する能力を獲得する</p> <p>水谷 太郎 初期診療から多臓器不全までテーマは広範</p> <p>本間 真人 薬物の効果・副作用と関連する薬物動態について、解析方法と変動因子(代謝酵素・輸送蛋白)に関する基礎知識を学び研究を行う。</p> <p>高橋 祥友 大規模災害時の被災者及び救済者の精神的健康の維持に関する講義</p> <p>我妻 ゆき子 臨床試験と臨床疫学に関する理論とその応用</p> <p>橋本 幸一 橋渡し研究、多施設共同臨床研究の実施およびマネジメントによる地域医療、地域産業の活性化</p> <p>宮田 桂司(連) 創薬現場における魅力的なバイオイ</p> <p>三好 荘介(連) メーキング</p> <p>成松 久(連) 生体を構成する個々の分子の構造と機能</p> <p>と機能が総合して機能する調節系が生</p> <p>命活動を規定していることを理解し、有用な生体分子を創出する事も</p> <p>目指す</p> <p>澤田 光平(連) 遺伝子、タンパク質に基づく創薬科</p> <p>学研究</p> <p>谷口 彰良(連) 細胞と生体材料の相互作用を遺伝子の表現レベルで検討し、細胞-材料間のインターフェースをナノメータ</p> <p>レベルで観察・研究する</p> <p>北條 泰輔(連) 医薬品・医療機器の審査プロセスを学ぶことにより、レギュラトリー</p> <p>イエンスの基本を身につけ、医学系</p> <p>各分野の学識や最先端技術の応用資する。</p>	
02EX270	臨床外科学特論I	1	2.0	1・2	春ABC	応談		西山 博之, 大河内 信弘, 平松 祐司, 佐藤 幸夫, 市村 秀夫, 山崎 正志, 増本 幸二, 関堂 充, 原 尚人, 濱田 洋実, 松村 明, 大鹿 哲郎, 原 晃, 武川 寛樹	<p>西山 博之 泌尿生殖器に関する疾患と治療を概説</p> <p>する</p> <p>大河内 信弘 癌の特性と治療、臓器再生研究と創傷</p> <p>治療</p> <p>平松 祐司 循環機能研究に必要な知識と技能を身に付け、臨床研究者として国際的に</p> <p>通用</p> <p>する能力を獲得する</p> <p>増加する肺癌の現況その低侵襲手術</p> <p>に</p> <p>市村 秀夫 つき解説</p> <p>山崎 正志 循環器の臓器機能を理解できるように</p> <p>し、その研究に必要な技能を身に付け、心臓血管外科学の臨床研究者として</p> <p>し</p> <p>て国際的に通用する能力を育成する</p> <p>増本 幸二 先天性難治疾患の原因の解明と治療</p> <p>法</p> <p>について概説する</p> <p>関堂 充 外傷・腫瘍・先天異常などによる変形・欠損に対する外観および機能再</p> <p>建</p> <p>原 尚人 エラストグラフィを用いて乳腺、内</p> <p>分</p> <p>泌腫瘍の組織弾性について学ぶ。</p> <p>() 女性生殖器を中心とした正常と異常を学び、研究・実験を行う</p> <p>松村 明 脳神経外科分野の新規診断・治療の</p> <p>研</p> <p>究開発</p> <p>大鹿 哲郎 視機能と視覚の基礎を学び理解を深め</p> <p>る</p> <p>原 晃 蝸牛機能に関する分子生物学的、電気</p> <p>生理学的手法を用いた研究について</p> <p>講</p> <p>義・演習・実験を行う</p> <p>武川 寛樹 口腔腫瘍の実験構築・データ解釈・</p> <p>討</p> <p>論</p>	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02EX271	臨床外科学特論II		1	2.0	1・2	秋ABC		西山 博之, 大河内信弘, 平松 祐司, 佐藤 幸夫, 市村秀夫, 山崎 正志, 増本 幸二, 関堂 充, 原 尚人, 松村明, 濱田 洋実, 大鹿 哲郎, 原 晃, 武川 寛樹	<p>西山博之 泌尿生殖器に関する疾患と治療を概説する</p> <p>大河内信弘 癌の特性と治療、臓器再生研究と創傷</p> <p>平松祐司 治癒</p> <p>循環機能研究に必要な知識と技能を身に付け、臨床研究者として国際的に通用</p> <p>する能力を獲得する</p> <p>増加する肺癌の現況その低侵襲手術に</p> <p>佐藤幸夫 つき解説</p> <p>市村秀夫 循環器の臓器機能を理解できるように</p> <p>山崎正志 し、その研究に必要な技能を身に付け、心臓血管外科学の臨床研究者として</p> <p>し て国際的に通用する能力を育成する</p> <p>増本幸二 先天性難治疾患の原因の解明と治療法</p> <p>について概説する</p> <p>関堂 充 外傷・腫瘍・先天異常などによる変形・欠損に対する外観および機能再</p> <p>建原 尚人 エラストグラフィを用いて乳腺、内</p> <p>分 泌腫瘍の組織弾性について学ぶ。</p> <p>() 女性生殖器を中心とした正常と異常を学び、研究・実験を行う</p> <p>松村 明 脳神経外科分野の新規診断・治療の研究開発</p> <p>大鹿哲郎 視機能と視覚の基礎を学び理解を深める</p> <p>原 晃 蝸牛機能に関する分子生物学的、電気</p> <p>生理学的手法を用いた研究について</p> <p>講 義・演習・実験を行う</p> <p>武川寛樹 口腔腫瘍の実験構築・データ解釈・</p> <p>討 論</p>	
02EX272	臨床外科学演習I		2	2.0	1・2	春ABC		西山 博之, 大河内信弘, 平松 祐司, 佐藤 幸夫, 市村秀夫, 山崎 正志, 増本 幸二, 関堂 充, 原 尚人, 松村明, 濱田 洋実, 大鹿 哲郎, 原 晃, 武川 寛樹	<p>西山博之 泌尿生殖器に関する疾患と治療を概説する</p> <p>大河内信弘 癌の特性と治療、臓器再生研究と創傷</p> <p>平松祐司 治癒</p> <p>循環機能研究に必要な知識と技能を身に付け、臨床研究者として国際的に通用</p> <p>する能力を獲得する</p> <p>増加する肺癌の現況その低侵襲手術に</p> <p>佐藤幸夫 つき解説</p> <p>市村秀夫 循環器の臓器機能を理解できるように</p> <p>山崎正志 し、その研究に必要な技能を身に付け、心臓血管外科学の臨床研究者として</p> <p>し て国際的に通用する能力を育成する</p> <p>増本幸二 先天性難治疾患の原因の解明と治療法</p> <p>について概説する</p> <p>関堂 充 外傷・腫瘍・先天異常などによる変形・欠損に対する外観および機能再</p> <p>建原 尚人 エラストグラフィを用いて乳腺、内</p> <p>分 泌腫瘍の組織弾性について学ぶ。</p> <p>() 女性生殖器を中心とした正常と異常を学び、研究・実験を行う</p> <p>松村 明 脳神経外科分野の新規診断・治療の研究開発</p> <p>大鹿哲郎 視機能と視覚の基礎を学び理解を深める</p> <p>原 晃 蝸牛機能に関する分子生物学的、電気</p> <p>生理学的手法を用いた研究について</p> <p>講 義・演習・実験を行う</p> <p>武川寛樹 口腔腫瘍の実験構築・データ解釈・</p> <p>討 論</p>	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02EX273	臨床外科学演習II		2	2.0	1・2	秋ABC		西山 博之, 大河内信弘, 平松 祐司, 佐藤 幸夫, 市村秀夫, 山崎 正志, 増本 幸二, 関堂 充, 原 尚人, 松村明, 濱田 洋実, 大鹿 哲郎, 原 晃, 武川 寛樹	<p>西山博之 泌尿生殖器に関する疾患と治療を概説する</p> <p>大河内信弘 癌の特性と治療、臓器再生研究と創傷</p> <p>平松祐司 治癒</p> <p>循環機能研究に必要な知識と技能を身に付け、臨床研究者として国際的に通用する能力を獲得する</p> <p>佐藤幸夫 増加する肺癌の現況その低侵襲手術に</p> <p>市村秀夫 つき解説</p> <p>山崎正志 循環器の臓器機能を理解できるように、その研究に必要な技能を身に付け、心臓血管外科学の臨床研究者として国際的に通用する能力を育成する</p> <p>増本幸二 先天性難治疾患の原因の解明と治療</p> <p>法 について概説する</p> <p>関堂 充 外傷・腫瘍・先天異常などによる変形・欠損に対する外観および機能再</p> <p>建原 尚人 エラストグラフィを用いて乳腺、内</p> <p>分 泌腫瘍の組織弾性について学ぶ。</p> <p>() 女性生殖器を中心とした正常と異常を学び、研究・実験を行う</p> <p>松村 明 脳神経外科分野の新規診断・治療の研究開発</p> <p>大鹿哲郎 視機能と視覚の基礎を学び理解を深める</p> <p>原 晃 蝸牛機能に関する分子生物学的、電気生理学的手法を用いた研究について</p> <p>講 義・演習・実験を行う</p> <p>武川寛樹 口腔腫瘍の実験構築・データ解釈・論</p>	
02EX274	臨床外科学実験実習I		3	2.0	1・2	春ABC		西山 博之, 大河内信弘, 平松 祐司, 佐藤 幸夫, 市村秀夫, 山崎 正志, 増本 幸二, 関堂 充, 原 尚人, 松村明, 濱田 洋実, 大鹿 哲郎, 原 晃, 武川 寛樹	<p>西山博之 泌尿生殖器に関する疾患と治療を概説する</p> <p>大河内信弘 癌の特性と治療、臓器再生研究と創傷</p> <p>平松祐司 治癒</p> <p>循環機能研究に必要な知識と技能を身に付け、臨床研究者として国際的に通用する能力を獲得する</p> <p>佐藤幸夫 増加する肺癌の現況その低侵襲手術に</p> <p>市村秀夫 つき解説</p> <p>山崎正志 循環器の臓器機能を理解できるように、その研究に必要な技能を身に付け、心臓血管外科学の臨床研究者として国際的に通用する能力を育成する</p> <p>増本幸二 先天性難治疾患の原因の解明と治療</p> <p>法 について概説する</p> <p>関堂 充 外傷・腫瘍・先天異常などによる変形・欠損に対する外観および機能再</p> <p>建原 尚人 エラストグラフィを用いて乳腺、内</p> <p>分 泌腫瘍の組織弾性について学ぶ。</p> <p>() 女性生殖器を中心とした正常と異常を学び、研究・実験を行う</p> <p>松村 明 脳神経外科分野の新規診断・治療の研究開発</p> <p>大鹿哲郎 視機能と視覚の基礎を学び理解を深める</p> <p>原 晃 蝸牛機能に関する分子生物学的、電気生理学的手法を用いた研究について</p> <p>講 義・演習・実験を行う</p> <p>武川寛樹 口腔腫瘍の実験構築・データ解釈・論</p>	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02EX275	臨床外科学実験実習II	3	2.0	1・2	秋ABC	応談		西山博之, 大河内信弘, 平松祐司, 佐藤幸夫, 市村秀夫, 山崎正志, 増本幸二, 関堂充, 原尚人, 松村明, 濱田洋美, 大鹿哲郎, 原晃, 武川寛樹	<p>西山博之 泌尿生殖器に関する疾患と治療を概説する</p> <p>大河内信弘 癌の特性と治療、臓器再生研究と創傷</p> <p>平松祐司 治癒</p> <p>循環機能研究に必要な知識と技能を身に付け、臨床研究者として国際的に通用する能力を獲得する</p> <p>佐藤幸夫 増加する肺癌の現況その低侵襲手術に</p> <p>市村秀夫 つき解説</p> <p>山崎正志 循環器の臓器機能を理解できるように、その研究に必要な技能を身に付け、心臓血管外科学の臨床研究者として国際的に通用する能力を育成する</p> <p>増本幸二 先天性難治疾患の原因の解明と治療</p> <p>関堂充 について概説する</p> <p>外傷・腫瘍・先天異常などによる変形・欠損に対する外観および機能再</p> <p>建原尚人 エラストグラフィを用いて乳腺、内</p> <p>分泌腫瘍の組織弾性について学ぶ。</p> <p>() 女性生殖器を中心とした正常と異常を学び、研究・実験を行う</p> <p>松村明 脳神経外科分野の新規診断・治療の研究開発</p> <p>大鹿哲郎 視機能と視覚の基礎を学び理解を深める</p> <p>原晃 蝸牛機能に関する分子生物学的、電気生理学的手法を用いた研究について</p> <p>講義・演習・実験を行う</p> <p>武川寛樹 口腔腫瘍の実験構築・データ解釈・討論</p>	
02EX276	臨床外科学特論I	1	2.0	1・2	春ABC	応談		西山博之, 大河内信弘, 平松祐司, 佐藤幸夫, 市村秀夫, 山崎正志, 増本幸二, 関堂充, 原尚人, 松村明, 濱田洋美, 大鹿哲郎, 原晃, 武川寛樹	<p>西山博之 泌尿生殖器に関する疾患と治療を概説する</p> <p>大河内信弘 癌の特性と治療、臓器再生研究と創傷</p> <p>平松祐司 治癒</p> <p>循環機能研究に必要な知識と技能を身に付け、臨床研究者として国際的に通用する能力を獲得する</p> <p>佐藤幸夫 増加する肺癌の現況その低侵襲手術に</p> <p>市村秀夫 つき解説</p> <p>山崎正志 循環器の臓器機能を理解できるように、その研究に必要な技能を身に付け、心臓血管外科学の臨床研究者として国際的に通用する能力を育成する</p> <p>増本幸二 先天性難治疾患の原因の解明と治療</p> <p>関堂充 について概説する</p> <p>外傷・腫瘍・先天異常などによる変形・欠損に対する外観および機能再</p> <p>建原尚人 エラストグラフィを用いて乳腺、内</p> <p>分泌腫瘍の組織弾性について学ぶ。</p> <p>() 女性生殖器を中心とした正常と異常を学び、研究・実験を行う</p> <p>松村明 脳神経外科分野の新規診断・治療の研究開発</p> <p>大鹿哲郎 視機能と視覚の基礎を学び理解を深める</p> <p>原晃 蝸牛機能に関する分子生物学的、電気生理学的手法を用いた研究について</p> <p>講義・演習・実験を行う</p> <p>武川寛樹 口腔腫瘍の実験構築・データ解釈・討論</p>	昼夜制学生に限る

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02EX277	臨床外科学特論II		1	2.0	1・2	秋ABC	応談	西山 博之, 大河内 信弘, 平松 祐司, 佐藤 幸夫, 市村 秀夫, 山崎 正志, 増本 幸二, 関堂 充, 原 尚人, 松村 明, 濱田 洋実, 大鹿 哲郎, 原 晃, 武川 寛樹	<p>西山博之 泌尿生殖器に関する疾患と治療を概説する</p> <p>大河内信弘 癌の特性と治療、臓器再生研究と創傷</p> <p>平松祐司 治癒</p> <p>循環機能研究に必要な知識と技能を身に付け、臨床研究者として国際的に通用</p> <p>する能力を獲得する</p> <p>増加する肺癌の現況その低侵襲手術に</p> <p>市村秀夫 つき解説</p> <p>山崎正志 循環器の臓器機能を理解できるように</p> <p>し、その研究に必要な技能を身に付け、心臓血管外科学の臨床研究者として</p> <p>国際的に通用する能力を育成する</p> <p>増本幸二 先天性難治疾患の原因の解明と治療</p> <p>法</p> <p>関堂 充 について概説する</p> <p>外傷・腫瘍・先天異常などによる変形・欠損に対する外観および機能再</p> <p>建原 尚人 エラストグラフィを用いて乳腺、内</p> <p>分</p> <p>() 泌腫瘍の組織弾性について学ぶ。</p> <p>女性生殖器を中心とした正常と異常を学び、研究・実験を行う</p> <p>松村 明 脳神経外科分野の新規診断・治療の</p> <p>研</p> <p>大鹿哲郎 究開発</p> <p>視機能と視覚の基礎を学び理解を深め</p> <p>る</p> <p>原 晃 蝸牛機能に関する分子生物学的、電</p> <p>気</p> <p>講</p> <p>生理学的手法を用いた研究について</p> <p>義・演習・実験を行う</p> <p>武川寛樹 口腔腫瘍の実験構築・データ解釈・</p> <p>討</p> <p>論</p>	昼夜制学生に限る
02EX278	臨床外科学実験実習I		3	2.0	1・2	春ABC	応談	西山 博之, 大河内 信弘, 平松 祐司, 佐藤 幸夫, 市村 秀夫, 山崎 正志, 増本 幸二, 関堂 充, 原 尚人, 松村 明, 濱田 洋実, 大鹿 哲郎, 原 晃, 武川 寛樹	<p>西山博之 泌尿生殖器に関する疾患と治療を概説する</p> <p>大河内信弘 癌の特性と治療、臓器再生研究と創傷</p> <p>平松祐司 治癒</p> <p>循環機能研究に必要な知識と技能を身に付け、臨床研究者として国際的に通用</p> <p>する能力を獲得する</p> <p>増加する肺癌の現況その低侵襲手術に</p> <p>市村秀夫 つき解説</p> <p>山崎正志 循環器の臓器機能を理解できるように</p> <p>し、その研究に必要な技能を身に付け、心臓血管外科学の臨床研究者として</p> <p>国際的に通用する能力を育成する</p> <p>増本幸二 先天性難治疾患の原因の解明と治療</p> <p>法</p> <p>関堂 充 について概説する</p> <p>外傷・腫瘍・先天異常などによる変形・欠損に対する外観および機能再</p> <p>建原 尚人 エラストグラフィを用いて乳腺、内</p> <p>分</p> <p>() 泌腫瘍の組織弾性について学ぶ。</p> <p>女性生殖器を中心とした正常と異常を学び、研究・実験を行う</p> <p>松村 明 脳神経外科分野の新規診断・治療の</p> <p>研</p> <p>大鹿哲郎 究開発</p> <p>視機能と視覚の基礎を学び理解を深め</p> <p>る</p> <p>原 晃 蝸牛機能に関する分子生物学的、電</p> <p>気</p> <p>講</p> <p>生理学的手法を用いた研究について</p> <p>義・演習・実験を行う</p> <p>武川寛樹 口腔腫瘍の実験構築・データ解釈・</p> <p>討</p> <p>論</p>	昼夜制学生に限る

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02EX279	臨床外科学実験実習II	3	2.0	1・2	秋ABC	応談		西山博之、大河内信弘、平松祐司、佐藤幸夫、市村秀夫、山崎正志、増本幸二、関堂充、原尚人、松村明、濱田洋美、大鹿哲郎、原晃、武川寛樹	<p>西山博之 泌尿生殖器に関する疾患と治療を概説する</p> <p>大河内信弘 癌の特性と治療、臓器再生研究と創傷</p> <p>平松祐司 治癒</p> <p>循環機能研究に必要な知識と技能を身に付け、臨床研究者として国際的に通用する能力を獲得する</p> <p>佐藤幸夫 増加する肺癌の現況その低侵襲手術に</p> <p>市村秀夫 つき解説</p> <p>山崎正志 循環器の臓器機能を理解できるように、その研究に必要な技能を身に付け、心臓血管外科学の臨床研究者として国際的に通用する能力を育成する</p> <p>増本幸二 先天性難治疾患の原因の解明と治療</p> <p>関堂充 について概説する</p> <p>外傷・腫瘍・先天異常などによる変形・欠損に対する外観および機能再</p> <p>建原尚人 エラストグラフィを用いて乳腺、内</p> <p>分泌腫瘍の組織弾性について学ぶ。</p> <p>() 女性生殖器を中心とした正常と異常を学び、研究・実験を行う</p> <p>松村明 脳神経外科分野の新規診断・治療の研究開発</p> <p>大鹿哲郎 視機能と視覚の基礎を学び理解を深める</p> <p>原晃 蝸牛機能に関する分子生物学的、電気生理学的手法を用いた研究について</p> <p>講義・演習・実験を行う</p> <p>武川寛樹 口腔腫瘍の実験構築・データ解釈・討論</p>	昼夜制学生に限る
02EX280	臨床内科学特論I	1	2.0	1・2	春ABC	応談		千葉滋、兵頭一之介、正田純一、谷中昭典、青沼和隆、宮内卓、本間覚、小池朗、野上昭彦、檜澤伸之、石井幸雄、佐藤浩昭、寺本信嗣、玉岡晃、山縣邦弘、二宮治彦、住田孝之、島野仁、川上康、藤本学、須磨崎亮、人見重美、矢野晴美	<p>千葉滋 正常造血及び造血器腫瘍の分子基盤</p> <p>兵頭一之介 消化器がんの分子標的治療や遺伝子療など</p> <p>正田純一 H. pylori及び胃酸関連疾患の病態と治療、消化管悪性腫瘍の疫学と予防</p> <p>谷中昭典 循環器疾患の病態について電気生理学的、血行動態学的ならびに分子生物学的アプローチにより解析し、新たな療法を開発する</p> <p>宮内卓 臨床応用を目標に心筋と血管への新しいエンドセリン遮断薬の開発研究を行う</p> <p>本間覚 臨床応用を目標に心筋と血管の再生療、生理的ペースメーカー細胞移植の開発の研究を行う</p> <p>小池朗 心疾患における運動生理と心臓リハビリテーションについて</p> <p>野上昭彦 主要呼吸疾患の病態を分子細胞生物学</p> <p>檜澤伸之 的立場から討論・実験を行う</p> <p>石井幸雄 主要呼吸疾患(慢性閉塞性肺疾患、気管支喘息、間質性肺炎、肺癌)から</p> <p>佐藤浩昭 テーマを選び、研究実験を行う</p> <p>呼吸器感染症の新規診断治療法に関する研究</p> <p>寺本信嗣 アルツハイマー型認知症の分子病態について</p> <p>玉岡晃 腎臓疾患の発症進展機構と治療法、</p> <p>山縣邦弘 防法の研究</p> <p>二宮治彦 造血系の機能・生理および血液凝固系、これらに異常をきたした</p> <p>住田孝之 た場合の治療・制御法の研究</p> <p>新 免疫難病発症の分子機構解明および</p> <p>島野仁 規分子標的治療戦略の開発</p> <p>病態メカニズムを念頭に考えることの重要性</p> <p>川上康 分子生物学的手法の検査と循環器生</p> <p>理 検査</p> <p>藤本学 皮膚・皮膚疾患を分子生物学、細胞</p>	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02EX281	臨床内科学特論II		1	2.0	1・2	秋ABC	応談	千葉 滋, 兵頭 一之介, 正田 純一, 谷中 昭典, 青沼 和隆, 宮内 卓, 本間 覚, 小池 朗, 野上 昭彦, 檜澤 伸之, 石井 幸雄, 佐藤 浩昭, 寺本 信嗣, 玉岡 晃, 山縣 邦弘, 二宮 治彦, 住田 孝之, 島野 仁, 川上 康, 藤本 学, 須磨崎 亮, 人見 重美, 矢野 晴美	<p>正常造血及び造血器腫瘍の分子基盤 消化器がんの分子標的治療や遺伝子 治療など H. pylori及び胃酸関連疾患の病態と治 療、消化管悪性腫瘍の疫学と予防 循環器疾患の病態について電気生理 学的、血行動態学的ならびに分子生物 学的アプローチにより解析し、新たな 療法を開発する 臨床応用を目標に心筋と血管への新 しいエンドセリン遮断薬の開発研究を 行う 臨床応用を目標に心筋と血管の再生 療、生理的ペースメーカー細胞移植の 発の研究を行う 心疾患における運動生理と心臓リハビ リテーションについて 主要呼吸疾患の病態を分子細胞生物 学的立場から討論・実験を行う 主要呼吸疾患(慢性閉塞性肺疾患、気 管支喘息、間質性肺炎、肺癌)から テーマを選び、研究実験を行う 呼吸器感染症の新規診断治療法に関 する研究 アルツハイマー型認知症の分子病態 について 腎臓疾患の発症進展機構と治療法、 防法の研究 造血系の機能・生理および血液凝 線溶系の機構、これらに異常をきた した場合の治療・制御法の研究 免疫難病発症の分子機構解明および 規分子標的治療戦略の開発 病態メカニズムを念頭に考えること の重要性 分子生物学的手法の検査と循環器生 理検査 皮膚・皮膚疾患を分子生物学、細胞</p>	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02EX282	臨床内科学演習I		2	2.0	1・2	春ABC	応談	千葉 滋、兵頭 一之介、正田 純一、谷中 昭典、青沼 和隆、宮内 卓、本間 覚、小池 朗、野上 昭彦、檜澤 伸之、石井 幸雄、佐藤 浩昭、寺本 信嗣、玉岡 晃、山縣 邦弘、二宮 治彦、住田 孝之、島野 仁、川上 康、藤本 学、須磨崎 亮、人見 重美、矢野 晴美	<p>正常造血及び造血器腫瘍の分子基盤 消化器がんの分子標的治療や遺伝子 治療など H. pylori及び胃酸関連疾患の病態と治 療、消化管悪性腫瘍の疫学と予防 循環器疾患の病態について電気生理 的、血行動態学的ならびに分子生物 学的アプローチにより解析し、新たな 療法を開発する 臨床応用を目標に心筋と血管への新 しいエンドセリン遮断薬の開発研究を 行う 臨床応用を目標に心筋と血管の再生 療、生理的ペースメーカー細胞移植の 発の研究を行う 心疾患における運動生理と心臓リハビ リテーションについて 主要呼吸疾患の病態を分子細胞生物 学的立場から討論・実験を行う 主要呼吸疾患(慢性閉塞性肺疾患、気 管支喘息、間質性肺炎、肺癌)から テーマを選び、研究実験を行う 呼吸器感染症の新規診断治療法に関 する研究 アルツハイマー型認知症の分子病態 について 腎臓疾患の発症進展機構と治療法、 防法の研究 造血系の機能・生理および血液凝 線溶系の機構、これらに異常をきた した場合の治療・制御法の研究 免疫難病発症の分子機構解明および 規分子標的治療戦略の開発 病態メカニズムを念頭に考えること の重要性 分子生物学的手法の検査と循環器生 理検査 皮膚・皮膚疾患を分子生物学、細胞</p>	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02EX283	臨床内科学演習II		2	2.0	1・2	秋ABC	応談	千葉 滋, 兵頭 一之介, 正田 純一, 谷中 昭典, 青沼 和隆, 宮内 卓, 本間 覚, 小池 朗, 野上 昭彦, 檜澤 伸之, 石井 幸雄, 佐藤 浩昭, 寺本 信嗣, 玉岡 晃, 山縣 邦弘, 二宮 治彦, 住田 孝之, 島野 仁, 川上 康, 藤本 学, 須磨崎 亮, 人見 重美, 矢野 晴美	<p>正常造血及び造血器腫瘍の分子基盤 消化器がんの分子標的治療や遺伝子 治療など H. pylori及び胃酸関連疾患の病態と治 療、消化管悪性腫瘍の疫学と予防 循環器疾患の病態について電気生理 的、血行動態学的ならびに分子生物 学的アプローチにより解析し、新たな 療法を開発する 臨床応用を目標に心筋と血管への新 しいエンドセリン遮断薬の開発研究を 行う 臨床応用を目標に心筋と血管の再生 療、生理的ペースメーカー細胞移植の 発の研究を行う 心疾患における運動生理と心臓リハビ リテーションについて 主要呼吸疾患の病態を分子細胞生物 学的立場から討論・実験を行う 主要呼吸疾患(慢性閉塞性肺疾患、気 管支喘息、間質性肺炎、肺癌)から テーマを選び、研究実験を行う 呼吸器感染症の新規診断治療法に関 する研究 アルツハイマー型認知症の分子病態 について 腎臓疾患の発症進展機構と治療法、 防法の研究 造血系の機能・生理および血液凝 線溶系の機構、これらに異常をきた した場合の治療・制御法の研究 免疫難病発症の分子機構解明および 規分子標的治療戦略の開発 病態メカニズムを念頭に考えること の重要性 分子生物学的手法の検査と循環器生 理検査 皮膚・皮膚疾患を分子生物学、細胞</p>	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02EX284	臨床内科学実験実習 I	3	2.0	1・2	春ABC	応談		千葉 滋、兵頭 一之介、正田 純一、谷中 昭典、青沼 和隆、宮内 卓、本間 覚、小池 朗、野上 昭彦、檜澤 伸之、石井 幸雄、佐藤 浩昭、寺本 信嗣、玉岡 晃、山縣 邦弘、二宮 治彦、住田 孝之、島野 仁、川上 康、藤本 学、須磨崎 亮、人見 重美、矢野 晴美	<p>正常造血及び造血器腫瘍の分子基盤 消化器がんの分子標的治療や遺伝子 治療など H. pylori 及び胃酸関連疾患の病態と治 療、消化管悪性腫瘍の疫学と予防 循環器疾患の病態について電気生理 学的、血行動態学的ならびに分子生物 学的アプローチにより解析し、新たな 療法を開発する 臨床応用を目標に心筋と血管への新 しいエンドセリン遮断薬の開発研究を 行う 臨床応用を目標に心筋と血管の再生 療、生理的ペースメーカー細胞移植の 発の研究を行う 心疾患における運動生理と心臓リハビ リテーションについて 主要呼吸疾患の病態を分子細胞生物 学的立場から討論・実験を行う 主要呼吸疾患(慢性閉塞性肺疾患、気 管支喘息、間質性肺炎、肺癌)から テーマを選び、研究実験を行う 呼吸器感染症の新規診断治療法に関 する研究 アルツハイマー型認知症の分子病態 について 腎臓疾患の発症進展機構と治療法、 防法の研究 造血系の機能・生理および血液凝 線溶系の機構、これらに異常をきた した場合の治療・制御法の研究 免疫難病発症の分子機構解明および 規分子標的治療戦略の開発 病態メカニズムを念頭に考えること の重要性 分子生物学的手法の検査と循環器生 理検査 皮膚・皮膚疾患を分子生物学、細胞</p>	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02EX285	臨床内科学実験実習II	3	2.0	1・2	秋ABC	応談		千葉 滋、兵頭 一之介、正田 純一、谷中 昭典、青沼 和隆、宮内 卓、本間 覚、小池 朗、野上 昭彦、檜澤 伸之、石井 幸雄、佐藤 浩昭、寺本 信嗣、玉岡 晃、山縣 邦弘、二宮 治彦、住田 孝之、島野 仁、川上 康、藤本 学、須磨崎 亮、人見 重美、矢野 晴美	<p>正常造血及び造血器腫瘍の分子基盤 消化器がんの分子標的治療や遺伝子 治療など H. pylori及び胃酸関連疾患の病態と治 療、消化管悪性腫瘍の疫学と予防 循環器疾患の病態について電気生理 的、血行動態学的ならびに分子生物 学的アプローチにより解析し、新たな 療法を開発する 臨床応用を目標に心筋と血管への新 しいエンドセリン遮断薬の開発研究を 行う 臨床応用を目標に心筋と血管の再生 療、生理的ペースメーカー細胞移植の 発の研究を行う 心疾患における運動生理と心臓リハビ リテーションについて 主要呼吸疾患の病態を分子細胞生物 学的立場から討論・実験を行う 主要呼吸疾患(慢性閉塞性肺疾患、気 管支喘息、間質性肺炎、肺癌)から テーマを選び、研究実験を行う 呼吸器感染症の新規診断治療法に関 する研究 アルツハイマー型認知症の分子病態 について 腎臓疾患の発症進展機構と治療法、 予防の研究 造血系の機能・生理および血液凝 線溶系の機構、これらに異常をきた した場合の治療・制御法の研究 免疫難病発症の分子機構解明および 新規分子標的治療戦略の開発 病態メカニズムを念頭に考えること の重要性 分子生物学的手法の検査と循環器生 理検査 皮膚・皮膚疾患を分子生物学、細胞</p>	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02EX286	臨床内科学特論I		1	2.0	1・2	春ABC	応談	千葉 滋、兵頭 一之介、正田 純一、谷中 昭典、青沼 和隆、宮内 卓、本間 覚、小池 朗、野上 昭彦、檜澤 伸之、石井 幸雄、佐藤 浩昭、寺本 信嗣、玉岡 晃、山縣 邦弘、二宮 治彦、住田 孝之、島野 仁、川上 康、藤本 学、須磨崎 亮、人見 重美、矢野 晴美	<p>正常造血及び造血器腫瘍の分子基盤 消化器がんの分子標的治療や遺伝子 治療など H. pylori及び胃酸関連疾患の病態と治 療、消化管悪性腫瘍の疫学と予防 循環器疾患の病態について電気生理 学的、血行動態学的ならびに分子生物 学的アプローチにより解析し、新たな 療法を開発する 臨床応用を目標に心筋と血管への新 しいエンドセリン遮断薬の開発研究を 行う 臨床応用を目標に心筋と血管の再生 療、生理的ペースメーカー細胞移植の 発の研究を行う 心疾患における運動生理と心臓リハビ リテーションについて 主要呼吸疾患の病態を分子細胞生物 学的立場から討論・実験を行う 主要呼吸疾患(慢性閉塞性肺疾患、気 管支喘息、間質性肺炎、肺癌)から テーマを選び、研究実験を行う 呼吸器感染症の新規診断治療法に関 する研究 アルツハイマー型認知症の分子病態 について 腎臓疾患の発症進展機構と治療法、 防法の研究 造血系の機能・生理および血液凝 線溶系の機構、これらに異常をきた した場合の治療・制御法の研究 免疫難病発症の分子機構解明および 規分子標的治療戦略の開発 病態メカニズムを念頭に考えること の重要性 分子生物学的手法の検査と循環器生 理 検査 皮膚・皮膚疾患を分子生物学、細胞</p>	昼夜制学生に限る

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02EX287	臨床内科学特論II		1	2.0	1・2	秋ABC	応談	千葉 滋, 兵頭 一之介, 正田 純一, 谷中 昭典, 青沼 和隆, 宮内 卓, 本間 覚, 小池 朗, 野上 昭彦, 檜澤 伸之, 石井 幸雄, 佐藤 浩昭, 寺本 信嗣, 玉岡 晃, 山縣 邦弘, 二宮 治彦, 住田 孝之, 島野 仁, 川上 康, 藤本 学, 須磨崎 亮, 人見 重美, 矢野 晴美	<p>千葉 滋 正常造血及び造血器腫瘍の分子基盤</p> <p>兵頭一之介 消化器がんの分子標的治療や遺伝子治療など</p> <p>正田純一 H. pylori及び胃酸関連疾患の病態と治療、消化管悪性腫瘍の疫学と予防</p> <p>谷中昭典 循環器疾患の病態について電気生理学的、血行動態学的ならびに分子生物学的アプローチにより解析し、新たな療法を開発する</p> <p>青沼和隆 臨床応用を目標に心筋と血管への新しいエンドセリン遮断薬の開発研究を行う</p> <p>宮内 卓 臨床応用を目標に心筋と血管の再生</p> <p>本間 覚 療、生理的ペースメーカー細胞移植の発の研究を行う</p> <p>小池 朗 心疾患における運動生理と心臓リハビリテーションについて</p> <p>檜澤伸之 主要呼吸疾患の病態を分子細胞生物学的立場から討論・実験を行う</p> <p>石井幸雄 主要呼吸疾患(慢性閉塞性肺疾患、気管支喘息、間質性肺炎、肺癌)から</p> <p>佐藤浩昭 テーマを選び、研究実験を行う</p> <p>寺本信嗣 呼吸器感染症の新規診断治療法に関する研究</p> <p>玉岡 晃 アルツハイマー型認知症の分子病態について</p> <p>山縣邦弘 腎臓疾患の発症進展機構と治療法、</p> <p>予 防法の研究</p> <p>二宮治彦 造血系の機能・生理および血液凝固系・線溶系の機構、これらに異常をきたした場合の治療・制御法の研究</p> <p>住田孝之 免疫難病発症の分子機構解明および新規分子標的治療戦略の開発</p> <p>島野 仁 病態メカニズムを念頭に考えることの重要性</p> <p>川上 康 分子生物学的手法の検査と循環器生理学検査</p> <p>藤本 学 皮膚・皮膚疾患を分子生物学、細胞</p>	昼夜制学生に限る

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02EX288	臨床内科学実験実習Ⅰ	3	2.0	1・2	春ABC	応談		千葉 滋、兵頭 一之介、正田 純一、谷中 昭典、青沼 和隆、宮内 卓、本間 覚、小池 朗、野上 昭彦、檜澤 伸之、石井 幸雄、佐藤 浩昭、寺本 信嗣、玉岡 晃、山縣 邦弘、二宮 治彦、住田 孝之、島野 仁、川上 康、藤本 学、須磨崎 亮、人見 重美、矢野 晴美	<p>正常造血及び造血器腫瘍の分子基盤 消化器がんの分子標的治療や遺伝子 療など H. pylori 及び酸関連疾患の病態と治 療、消化管悪性腫瘍の疫学と予防 循環器疾患の病態について電気生理 的、血行動態学的ならびに分子生物 学的アプローチにより解析し、新たな 療法を開発する 臨床応用を目標に心筋と血管への新 しいエンドセリン遮断薬の開発研究を 行う 臨床応用を目標に心筋と血管の再生 療、生理的ペースメーカー細胞移植の 発の研究を行う 心疾患における運動生理と心臓リハビ リテーションについて 主要呼吸疾患の病態を分子細胞生物 学的立場から討論・実験を行う 主要呼吸疾患(慢性閉塞性肺疾患、気 管支喘息、間質性肺炎、肺癌)から テーマを選び、研究実験を行う 呼吸器感染症の新規診断治療法に関 する研究 アルツハイマー型認知症の分子病態 について 腎臓疾患の発症進展機構と治療法、 防法の研究 造血系の機能・生理および血液凝 線溶系の機構、これらに異常をきた した場合の治療・制御法の研究 免疫難病発症の分子機構解明および 規分子標的治療戦略の開発 病態メカニズムを念頭に考えること の重要性 分子生物学的手法の検査と循環器生 理検査 皮膚・皮膚疾患を分子生物学・細胞</p>	昼夜制学生に限る

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02EX289	臨床内科学実験実習II	3	2.0	1・2	秋ABC	応談		千葉 滋、兵頭 一之介、正田 純一、谷中 昭典、青沼 和隆、宮内 卓、本間 覚、小池 朗、野上 昭彦、檜澤 伸之、石井 幸雄、佐藤 浩昭、寺本 信嗣、玉岡 晃、山縣 邦弘、二宮 治彦、住田 孝之、島野 仁、川上 康、藤本 学、須磨崎 亮、人見 重美、矢野 晴美	<p>千葉 滋 正常造血及び造血器腫瘍の分子基盤</p> <p>兵頭一之介 消化器がんの分子標的治療や遺伝子治療</p> <p>正田純一 療など</p> <p>谷中昭典 H.pylori及び胃酸関連疾患の病態と治療、消化管悪性腫瘍の疫学と予防</p> <p>青沼和隆 循環器疾患の病態について電気生理学的、血行動態学的ならびに分子生物学的アプローチにより解析し、新たな治療法を開発する</p> <p>宮内 卓 臨床応用を目標に心筋と血管への新しいエンドセリン遮断薬の開発研究を行う</p> <p>本間 覚 臨床応用を目標に心筋と血管の再生療、生理的ペースメーカー細胞移植の開発の研究を行う</p> <p>小池 朗 心疾患における運動生理と心臓リハビリテーションについて</p> <p>檜澤伸之 主要呼吸疾患の病態を分子細胞生物学的立場から討論・実験を行う</p> <p>石井幸雄 主要呼吸疾患(慢性閉塞性肺疾患、気管支喘息、間質性肺炎、肺癌)からテーマを選び、研究実験を行う</p> <p>佐藤浩昭 呼吸器感染症の新規診断治療法に関する研究</p> <p>寺本信嗣 アルツハイマー型認知症の分子病態について</p> <p>玉岡 晃 腎臓疾患の発症進展機構と治療法、予防法の研究</p> <p>山縣邦弘 造血系の機能・生理および血液凝固・線溶系の機構、これらに異常をきたした場合の治療・制御法の研究</p> <p>二宮治彦 免疫難病発症の分子機構解明および新規分子標的治療戦略の開発</p> <p>住田孝之 病態メカニズムを念頭に考えることの重要性</p> <p>島野 仁 分子生物学的手法の検査と循環器生理検査</p> <p>川上 康 皮膚・皮膚疾患を分子生物学、細胞</p>	昼夜制学生に限る
02EX293	社会医学特論I	1	2.0	1・2	春ABC	応談		大久保 一郎、齋藤 環、田宮 菜奈子	<p>大久保一郎 日本の医療供給体制、医療保険制度、国民医療費の現状や課題について講義する。</p> <p>齋藤 環 メンタルヘルスの現状や課題に関する文献を読み、適宜事例も参照しながら、その内容について検討し評価する。</p> <p>田宮菜奈子 最新のテキストを用いてヘルスサービスリサーチ遂行のための基本的知識・技術を修得する。</p>	
02EX294	社会医学特論II	1	2.0	1・2	秋ABC	応談		大久保 一郎、齋藤 環、田宮 菜奈子	<p>大久保一郎 日本の医療供給体制、医療保険制度、国民医療費の現状や課題について講義する。</p> <p>齋藤 環 メンタルヘルスの現状や課題に関する文献を読み、適宜事例も参照しながら、その内容について検討し評価する。</p> <p>田宮菜奈子 最新のテキストを用いてヘルスサービスリサーチ遂行のための基本的知識・技術を修得する。</p>	
02EX295	社会医学演習I	2	2.0	1・2	春ABC	応談		大久保 一郎、齋藤 環、田宮 菜奈子	<p>大久保一郎 医療供給体制や医療保険制度に関する論文を読み、その内容と評価を議論する。</p> <p>齋藤 環 メンタルヘルスに関連する原著論文を抄読し、研究目的、方法、結果、考察のあり方を理解し、その研究の意義や限界、今後の課題について討論する。</p> <p>田宮菜奈子 内外の医療介護サービス提供の現状とその課題を、最新のヘルスサービスリサーチ文献抄読と討論から修得する。</p>	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02EX296	社会医学演習II		2	2.0	1・2	秋ABC		大久保 一郎, 斎藤環, 田宮 菜奈子	大久保一郎 医療供給体制や医療保険制度に関する論文を読み、その内容と評価を議論する。 斎藤環 メンタルヘルスに関連する原著論文を抄読し、研究目的、方法、結果、考察のあり方を理解し、その研究の意義や限界、今後の課題について討論する。 田宮菜奈子 内外の医療介護サービス提供の現状とその課題を、最新のヘルスサービスリサーチ文献抄読と討論から修得する。	
02EX297	社会医学実験実習I		3	2.0	1・2	春ABC		大久保 一郎, 斎藤環, 田宮 菜奈子	大久保一郎 医療供給体制や医療保険制度に関する学位論文作成のために、講義や討論による研究指導を行う。 斎藤環 メンタルヘルスに関連する臨床データの収集方法や解析、事例インタビューの技法について、その原理や手法を実践から学ぶ。研究目的や方法を臨床的視点から理解し、自ら実施したデータ収集や分析の意義、問題点などについて討論する。 田宮菜奈子 自らのリサーチクエストをもとに、質の高い研究デザインを構築するプロセスを、教員、外部からの専門家・経験者や同僚との討論を通じて身に着ける	
02EX298	社会医学実験実習II		3	2.0	1・2	秋ABC		大久保 一郎, 斎藤環, 田宮 菜奈子	大久保一郎 医療供給体制や医療保険制度に関する学位論文作成のために、講義や討論による研究指導を行う。 斎藤環 メンタルヘルスに関連する臨床データの収集方法や解析、事例インタビューの技法について、その原理や手法を実践から学ぶ。研究目的や方法を臨床的視点から理解し、自ら実施したデータ収集や分析の意義、問題点などについて討論する。 田宮菜奈子 自らのリサーチクエストをもとに、質の高い研究デザインを構築するプロセスを、教員、外部からの専門家・経験者や同僚との討論を通じて身に着ける	
02EX226	地域医療連携システム特論		1	2.0	1・2	通年		前野 哲博, 大久保英樹, 高屋敷 明由美, 前野 真美	地域医療と医学教育をテーマとした研究を行う。地域医療については、プライマリ・ケア領域における臨床研究および地域医療の充実に関する研究(地域における医療職支援、住民を対象としたヘルスプロモーション等を含む)を行う。医学教育については、臨床医学教育の充実および地域医療を實踐できる人材を養成するシステムの開発について研究する。	
02EX230	臨床試験論		1	2.0	1・2	秋AB	火7,8	我妻 ゆき子, 橋本幸一, 中田 由夫, 岡田 昌史	臨床試験は、病気に対する新しい治療法や薬の安全性・有効性を検証するために行われる。ヒトを対象とした医学研究である。臨床試験は厳密な科学性と倫理性を兼ね備える必要があるため、GCP(Good Clinical Practice)と呼ばれる基準に従って実施される。本講義では、GCPに沿って臨床試験のデザインから実行までを概観する。	
02EX231	医生物統計学概論		1	1.0	1・2	春AB	水3	4F204 我妻 ゆき子, 馬恩博	医学研究で用いられるサンプリング手法、統計手法の理解及びその結果の正しい解釈ができ、自ら医学研究を計画したときに応用できるようになることを目標とする。	
02EX292	医生物統計学特論		1	2.0	1・2	秋AB	水4,5	4F305 我妻 ゆき子, 馬恩博	医学研究で重要である統計手法、一般化線形モデル、経時データ解析を学ぶ。	
02EX232	医生物統計学実習		3	1.0	1・2	春AB	木6,7	4F204 我妻 ゆき子, 岡田昌史	統計解析ソフトウェアを用いて、医学データ解析に用いられる統計手法の実際について学ぶ。	
02EX290	疫学特論		1	2.0	1・2	秋AB	木5,6	我妻 ゆき子, 岡田昌史	医学研究で用いられるサンプリング手法、統計手法の理解及びその結果の正しい解釈ができ、自ら医学研究を計画したときに応用できるようになることを目標とする。	必修
02EW176	環境衛生学特論		1	3.0	1・2	秋ABC	水5集中	熊谷 嘉人, 松崎一葉, 藤 栄治, 笹原 信一郎, 新開 泰弘	・親電子性環境化学物質のケミカルバイオリジ ・化学修飾を受けたタンパク質を感知する細胞内品質管理システム	トータル・ヒューマン・ケアに根ざした社会医学専門家養成プログラム学生のみ対象

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02EW183	地域医療学特論	1	3.0	1	通年	水6		土屋 尚之, 山岸 良匡	<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣病の動態と国際比較 生活習慣病の危険因子分析とその解釈 地域における予防対策の評価方法 	トータル・ヒューマン・ケアに根ざした社会医学専門家養成プログラム学生のみ対象
02EW197	法医学特論	1	3.0	1・2	通年	火1		本田 克也	<ul style="list-style-type: none"> 内因性急死の発生機序の解明 DNA多型の個人識別への応用 薬毒物測定法の開発およびその応用 中毒のメカニズムの解明 中毒情報の収集とその解析 	トータル・ヒューマン・ケアに根ざした社会医学専門家養成プログラム学生のみ対象
02EW203	国際医療学特論	1	3.0	1・2	通年	集中		狩野 繁之, 濱端 崇	地球規模での人口の動態、環境保全、貧富、文化に基づいた医療の問題を概説し、特に熱帯医学、国際感染症学、国際医療協力についての事例について演習し問題の解決策を策定する。	トータル・ヒューマン・ケアに根ざした社会医学専門家養成プログラム学生のみ対象
02EW301	社会精神保健学特講	1	3.0	1・2	通年	火5	総合 D743	森田 展彰	児童虐待、犯罪、DV、被害者ケア、アルコール・薬物乱用、PTSDなどメンタルヘルスが関わる今日の社会問題を取りあげ、基礎知識および評価や介入の方法を習得する。	トータル・ヒューマン・ケアに根ざした社会医学専門家養成プログラム学生のみ対象
02EW302	福祉医療学特講	1	3.0	1・2	通年	応談		柳 久子	医療の高度化や人口の高齢化に伴い「チームケア」の重要性が高まっている。医療から生活支援を目的とする福祉への流れを理解するため、高齢者の疾病・障害の特徴、医療・福祉を支える多くの専門職種間の連携などを中心として学習する。	トータル・ヒューマン・ケアに根ざした社会医学専門家養成プログラム学生のみ対象
02EW303	保健医療政策学特講	1	3.0	1・2	通年	応談		大久保 一郎, 本田 靖, 近藤 正英	保健医療政策学の基礎を修得するために、保健医療制度、医療供給体制、医療保険制度、国民医療費、環境保健政策等の現状とその課題を論じ、これらの分析に必要な基本的な研究方法を解説する。	トータル・ヒューマン・ケアに根ざした社会医学専門家養成プログラム学生のみ対象
02EW304	ヘルスサービスリサーチ特講	1	3.0	1	通年	木4		田宮 菜奈子	国内外のヘルスサービスリサーチに関するトピックスを紹介するとともに、仮説のたて方や研究デザインなど、それぞれの実践現場で経験してきた問題点を検証していくために必要となる、ヘルスサービスリサーチの基礎の修得を目的とする。	トータル・ヒューマン・ケアに根ざした社会医学専門家養成プログラム学生のみ対象